

令和2年度 社小学校 学校関係者評価

○評価者：学校評議員

松井 敏（社地区代表区長）

宮野 和雄（社地区老人クラブ代表）

繁田 知宏（学識経験者：元小学校校長）

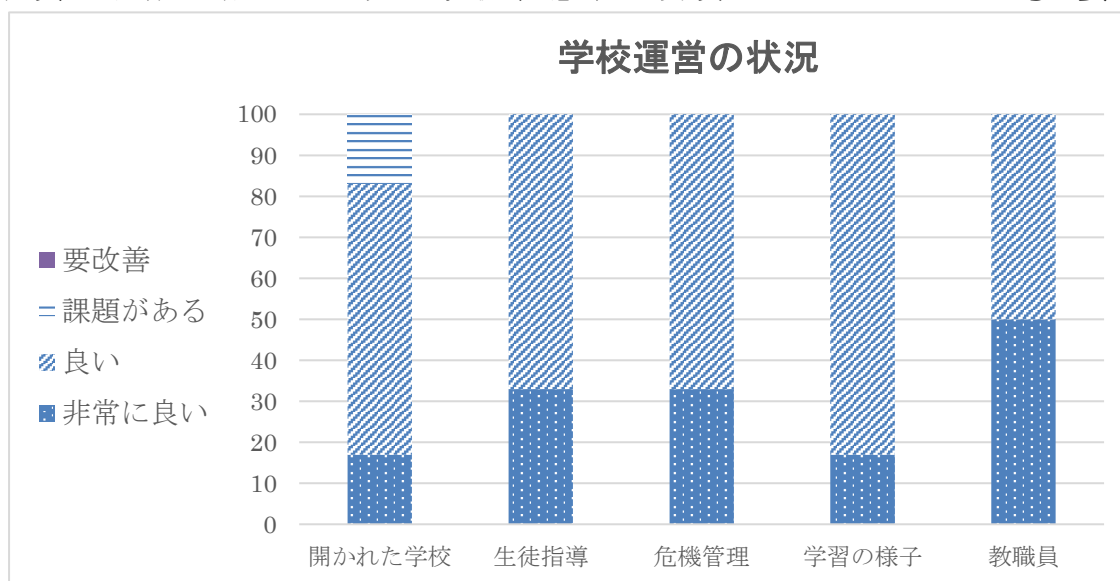
荒木 郁子（学識経験者：元教育委員）

加古智恵子（学識経験者：元小学校主幹教諭）

江頭こず恵（本校PTA会長）

1 学校運営の状況

- | | |
|---|----------------|
| ① 開かれた学校づくり
(学校オープン等の実施状況や情報提供、学校行事等の状況) | 3 / 4 |
| ② 生徒指導の状況
(子どもの社会性等の育成や子ども理解、子どもの生活の様子) | 3.3 / 4 |
| ③ 危機管理体制の状況（不審者対応、けがの防止、防災等） | 3.3 / 4 |
| ④ 子どもたちの学習の様子 | 3.2 / 4 |
| ⑤ 職員の授業の様子・工夫の状況、意欲・資質 | 3.5 / 4 |



《学校運営等についてのコメント》

- コロナ禍の中、開かれた学校づくりに関しては、難しいところがあったと思う。学校オープンが中止になったり、行事も人数制限があったりと地域への発信がなかなかできにくかったと思う。そんな中、ごりょうが丘フェスティバルが行えたことは、子どもたちにとってよかった。
- コロナ禍であっても高い目標値のまま、厳しい評価をしているのではないか。
- 互恵的な学習文化の評価が 2.2 と低い、これも難しいと感じた。これまで思ってもみなかった「人と関わり合うことがダメ」という学習形態で、密にならずにどう教え合ったり深め合ったりする学習ができるか、工夫していかなくてはいけないのだなと思った。

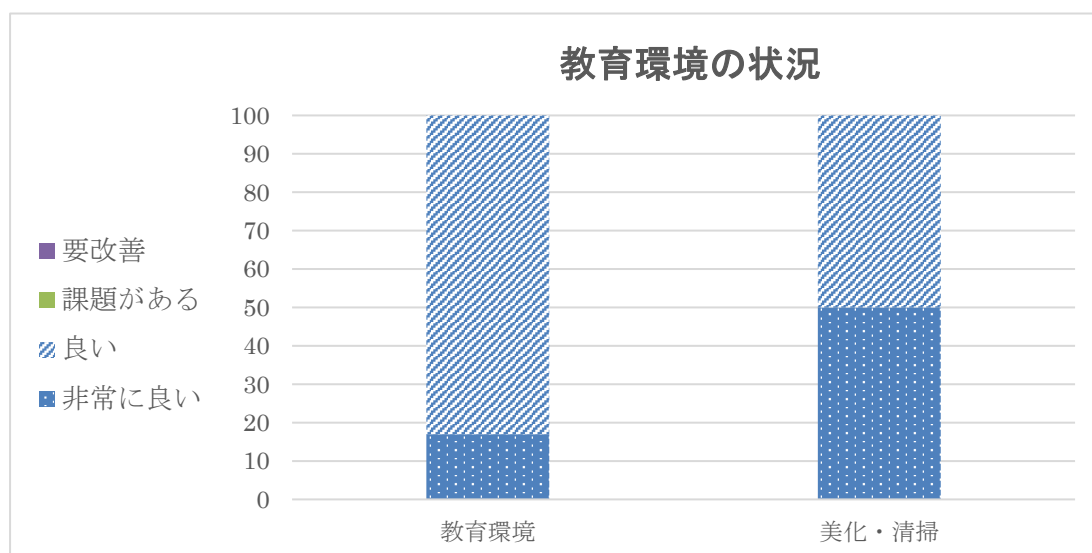
- ICT機器を活用したり、子どもたちがタブレットを使いこなしたり、教育の世界も随分一年で変化したのだと感じた。
- 「学校の新しい生活様式」の導入ということで、教育現場の大変さは想像以上のものがあったと思われる。コロナ感染から子どもたちを守ることにエネルギーの大半を注がれたことだろう。昨年の自己評価に比べると、今年度は、各項目でやや低めの評価になっても仕方がない。とはいえ、毎年の自己評価は、成果と課題をはっきりさせるためのもの。教師一人一人が自己の具体的課題と真摯に向き合えるものであってほしい。
- 最小限のオープンスクール、行事しか行われず、学校に行く機会も少なく、子どもたちの様子がよくわからなかった。学校からは、学校便り、学年便り、その他の便りが送られてくることもなく、情報量が極端に少なく、学校のことを把握できにくかった。
- 加東市は、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の患者や家族、病院関係者への人権を擁護する条例を制定した。人権教育の授業で、ぜひコロナ感染者や病院関係者への差別問題を取り上げて子どもたちにしっかり伝えてほしい。
- 防災無線の学校からのお知らせがわかりやすく大変よい。学校を訪問して、児童、教職員の雰囲気がよく、これだけでも学校運営が適切に行われていることが感じ取れる。
- コロナ騒動が広がる中での学校経営は、本当に大変だった。職員、PTA皆様のご尽力に感謝している。
- 今年度は、何をするにしてもコロナ対策が第一で本当に先生方も大変だったと思う。そんな中で子どもたちが楽しめることを一番に考えられて、いろんな行事をしていただけて、本当に感謝している。

2 教育環境

- ① 内掲示等の教育環境の状況
- ② 美化・清掃

3. 1 / 4

3. 8 / 4



《教育環境等についてのコメント》

- コロナ禍の中での学習環境の維持には、大変ご苦勞があったことと思う。先生方の努力と子どもたちへの徹底した指導で、一年間無事に学校生活を送れたことを本当によかったと思う。
- 手作り・手書きの掲示物等、いつも楽しみにしている。
- 校舎内が少し暗く感じられるが、教育環境はよく整えられている。
- 大変な一年だったが、社小へ行かせていただいた時や普段の通学の時の子どもたちの変わらない元気な姿を見ることができうれしく思った。
- 先生方、本当にお疲れ様です。本当に早く終息して元のような学校生活を送れる日が来ることを願っています。
- 掲示物は、非常に見やすく目につきやすい位置に掲示してあるのでよい。ただ、何年も前の児童の習字が掲示したままだったりするで、入れ替えていただいてもいいかなと思う。
- 「トイレのスリッパをそろえる取組をキャンペーン的にする」とのこと。よい詩があるのでご参考まで。

はきものをそろえると心もそろう
心がそろうとはきものもそろう
ぬぐときにそろえておくと
はくときに心がみだれない。
だれかがみだしておいたら
だまってそっとそろえておいてあげよう
そうすればきっと
世界中の人の心もそろうでしょう

長野県円福寺 藤本幸邦